

第 216 号 内容紹介

1 , 日本 AALA 声明「国際連帯の自由を守り発展を」

国家情報会議設置法の強行から続く、高市内閣による国際連帯活動の規制・監視強化。策動を乗り越えて平和の国際連帯を一層発展させよう。

2 , トー・ラウ「世界平和と発展にむけたベトナムの考察」

「力こそ正義」という強者の論理が国際秩序を危機に陥れている。主権と多国間主義に立ち、「四つのノー」を堅持する同国の書記長兼国家主席の訴え。シャングリア対話での基調演説全文（一問一答も）。

3 , B・ロドリゲス「キューバを平和に暮らさせてほしい」

パレスチナへのジェノサイドやイランへの侵略、米国の対キューバ政策に触れずして国連の役割は語れない。安保理の公開討論での外相の演説。「国連は役割を果たして」と切々と訴える。

4 , J・サックス「戦争より外交の常態化を」

ドイツのメルツ首相への公開書簡。欧州での大規模な戦争を回避するためには、ロシアとの外交が急務であると訴えている。

5 , I・デービス「トランプを操る新興テク富豪たち（2）」

シリコンバレーの大富豪ネットワークが AI・監視技術・官民連携を用いて、企業が国家のように支配する“ソブコープ”型のスマートシティ国家を世界に広げようとしている。連載の第 2 回。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala news の編](#)

[集日記 \(livedoonar.jp\)](http://livedoonar.jp)) なお紹介している論考は学習資料であり、内容の全部も一部も日本 AALA の見解や立場を反映したものではありません。